

6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(1) 脱炭素化と循環経済の推進

○家庭向け脱炭素化促進事業（温暖化対策推進課） 636,000千円（R7 636,000千円）

家庭におけるCO₂排出量削減や災害時における電源の確保を図るため、住宅用省エネ設備や電気自動車・充電関連設備、リース等による太陽光発電設備の導入に対し助成するとともに、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の取得に要する経費に対し、助成します。

[事業内容]

1 住宅用設備等脱炭素化促進事業 539,000千円

[補助対象] 市町村（県補助は市町村を通じて実施）

[対象経費] 燃料電池、蓄電池、窓の断熱改修、電気自動車等、V2H充放電設備

（集合住宅のみ対象）電気自動車用充電設備、住民の合意形成のための資料作成

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

2 住宅用太陽光発電設備等に係るリース等導入促進事業 47,000千円

[補助対象] リース事業者等

[対象経費] 太陽光発電設備・蓄電池をセットで導入する場合に、

太陽光発電設備について7万円/kW、蓄電池について1台当たり12万円を定額で補助

3 ZEH導入促進事業 50,000千円

[補助対象] 県内の中小工務店

[対象経費]

区分	補助額（定額）	上限額
GX 志向型住宅	100 万円	施工に要した 経費
ZEH+		
ZEH	50 万円	
ZEH Oriented		

※ZEH …基準となる一次エネルギー消費量を 20%以上削減した上で、再生可能エネルギー等の導入により、100%以上の一次エネルギー消費量削減を達成する住宅

GX 志向型住宅 …基準となる一次エネルギー消費量を 35%以上削減し、かつ外皮性能が断熱等性能等級 6 以上であることを達成し、高度エネルギーマネジメントを導入する住宅

ZEH+ …ZEH の定義を満たし、基準となる一次エネルギー消費量を 30%以上削減し、かつ外皮性能が断熱等性能等級 6 以上であることを達成し、以下の選択要件のうち 1 つ以上を採用する住宅

①高度エネルギーマネジメントの導入

②蓄電池、V2H 充放電設備等の再生可能エネルギーの自家消費の拡大装置の設置

ZEH Oriented …基準となる一次エネルギー消費量を 20%以上削減する住宅（再生可能エネルギーの導入が困難な都市部狭小地に建設された住宅に限る。）

○事業者向け脱炭素化促進事業〔再掲〕（温暖化対策推進課）

1,086,000千円（R7 1,105,000千円）

本県の産業部門等におけるカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、中小事業者等の脱炭素化に向けた取組を支援します。

〔事業内容〕

- | | | |
|---|-------------------------|-------------|
| 1 | 業務用設備等脱炭素化促進事業 | 1,036,000千円 |
| 2 | 中小事業者等向けスマート省エネ技術導入促進事業 | 20,000千円 |
| 3 | 中小事業者等向け脱炭素化（伴走型）相談支援事業 | 30,000千円 |

○事業者向け次世代自動車等導入促進事業〔再掲〕（温暖化対策推進課）

125,000千円（R7 115,000千円）

運輸部門における脱炭素化を進めるため、バスやトラック、シェアリングカー等に次世代自動車を導入する場合の車両等の導入経費について助成します。

また、中小事業者が次世代自動車用設備等を導入する際の経費について助成するほか、公共用充電設備の設置促進のため、公共用充電器を観光・宿泊施設や太陽光発電設備に設置する経費についても助成します。

〔事業内容〕

- | | | |
|---|------------------------|-----------|
| 1 | 地域交通等向け次世代自動車導入促進補助金 | 106,000千円 |
| 2 | 中小事業者向け次世代自動車用設備補助金 | 9,000千円 |
| 3 | 観光・宿泊施設等公共用充電設備設置促進補助金 | 10,000千円 |

○京葉臨海コンビナートGX推進事業【新規】〔再掲〕（カーボンニュートラル推進課）

50,000千円

京葉臨海コンビナートにおける「GX（グリーン・トランスフォーメーション）」を加速し、カーボンニュートラルの推進と国際競争力強化の両立を図るため、県とコンビナート立地企業等で設置する官民連携会議を運営するとともに、業種を超えた企業間連携のプロジェクトの推進に必要な調査等を実施します。

〔主な業務内容〕

- ・水素、アンモニア供給拠点整備に向けた検討
- ・企業間連携のプロジェクトを推進するための調査、分析

○海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業【一部新規】〔再掲〕

（カーボンニュートラル推進課）

30,000千円（R7 51,000千円）

洋上風力発電について、適地である太平洋沿岸地域への導入に向けて、地元の合意形成を図りながら検討を進めます。

また、洋上風力発電の導入を地域経済の活性化につなげるため、引き続き県内企業向けの風車メーカー等との勉強会を開催するほか、新たに洋上風力発電関連産業に関わる展示会への出展、本分野に関心のある企業の技術力などをPRするパンフレットの作成・配布などを通じて、関連産業への参入促進に向けた支援を行います。

〔主な事業〕

- ・導入可能性検討会議等の実施 17,730千円
- ・風車メーカー等との勉強会等の開催 2,040千円
- ・関連展示会への出展、企業紹介パンフレットの作成【新規】 8,000千円

○物流事業等における水素利活用モデル構築事業〔再掲〕（カーボンニュートラル推進課）

30,000千円（R7 60,000千円）

カーボンニュートラルの実現に向けて、新たなエネルギーとして期待される水素の利活用を促進するため、まとまった需要が見込まれる物流事業等の車両が集積する成田空港周辺地域において、水素利活用モデルの実証事業に向けた体制の構築や実証内容の検討を行います。

〔事業内容〕

- ・実証事業の詳細な内容の検討
- ・実証事業の実施体制の構築

○環境保全型農業直接支援対策事業〔再掲〕（環境農業推進課）

76,000千円（R7 68,132千円）

化学農薬・肥料の使用を2分の1以上低減したうえで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループ等に対し、取組面積に応じて交付金を交付します。

〔交付金単価〕 堆肥施用3,600円/10a、有機農業16,000円/10a等

〔負担割合〕 国50%、県25%、市町村25%

〔予定面積〕 793ha

○森林吸収源対策間伐促進事業〔再掲〕（森林課）

73,303千円（R7 70,960千円）

森林による二酸化炭素の吸収能力を高め、温室効果ガス削減を図るため、森林組合等が行う計画的・集約的な搬出間伐等に要する経費について助成します。

〔事業主体〕 森林組合等

〔補助率〕 6.5/10以内（国3/10、県義務1/10、県任意2.5/10）

〔事業内容〕 搬出間伐 105ha

○ブルーカーボン推進事業【一部新規】〔再掲〕（漁業資源課）

16,600千円（R7 13,600千円）

近年、本県沿岸岩礁域の藻場において磯焼けの範囲が急速に拡大していることから、海藻を食す魚の有効活用を促進するなど、磯焼け拡大の防止に取り組みます。また、「千葉県ブルーカーボン推進協議会」を核として、漁業者や民間企業等と連携し、藻場の保全や海藻養殖などブルーカーボンに関する取組を推進します。

〔事業主体〕 漁業協同組合等

〔主な事業〕

- | | |
|--------------------|---------|
| ・藻場食害対策及びモニタリング | 2,217千円 |
| ・藻場回復の取組支援 | 643千円 |
| ・植食性魚類の活用促進【新規】 | 2,000千円 |
| ・高水温に強い海藻の種苗試験【新規】 | 2,000千円 |
| ・ブルーカーボンに関する取組 | 8,220千円 |

○地球温暖化対策普及啓発事業（温暖化対策推進課） 32,600千円（R7 28,800千円）

カーボンニュートラルの実現のため、県民の脱炭素型ライフスタイル構築に向けたキャンペーン等を実施します。

〔主な事業〕

- ・脱炭素型ライフスタイル構築に向けたキャンペーン 21,083千円
- ・共同購入支援 363千円
- ・地球温暖化防止活動推進センターの運営 9,708千円

○次世代型太陽電池率先導入モデル事業（温暖化対策推進課）

50,000千円（R7 50,000千円）

次世代型太陽電池として期待され、現在、日本発の技術として開発・実証が進められている「ペロブスカイト太陽電池」について、その主要な原料となるヨウ素の世界有数の生産量を誇る千葉県において、モデル事業として県有施設への率先導入を図ります。

○県有施設照明器具ＬＥＤ化事業【新規】（温暖化対策推進課） 45,000千円

省電力化により脱炭素社会の実現に貢献するとともに、財政負担の軽減を図るため、ＬＥＤ化に着手していない県有施設のうち照明台数の多い施設の照明をリース方式により一括してＬＥＤ化します。令和８年度は、ＬＥＤ化に向け、照明器具の設置状況を調査します。

〔調査内容〕各施設の照明の設置状況、電気容量の減少計算、分電盤の回路確認 等

〔対象施設〕22施設（照明台数8,756台）

〔実施方法〕令和９年度に一括してＬＥＤ照明を発注し整備

〔削減効果（見込）〕二酸化炭素排出量 約486トン/年（約780トン→約294トン）

費用削減効果 約 35,500 千円/年

○市町村地球温暖化対策実行計画策定支援事業【新規】（温暖化対策推進課） 10,000千円

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県全体の温暖化対策を加速させるため、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定していない市町村に対し、計画策定に向けた伴走支援を行います。

〔対 象〕地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定していない市町村

〔事業内容〕ワークショップの開催、個別訪問支援 等

○プラスチックのリサイクル推進事業【新規】（循環型社会推進課） 33,600千円

循環経済への移行に向け、プラスチックの資源循環を図るため、プラスチックのリサイクルに取り組む市町村に対する伴走支援を実施するほか、県庁内で発生するプラスチックごみの排出抑制及び再資源化に向けた実証事業を実施します。

[事業内容]

- ・市町村への伴走支援 31,100千円
[支援対象] 容器包装プラスチック及び製品プラスチックを分別収集していない市町村
[支援内容] 分別収集に向けた課題の整理、効率的な収集方法等の提案 等
- ・庁内プラスチック資源のリサイクル実証事業 2,500千円

○廃棄物処分業者の再資源化高度化支援事業【新規】（廃棄物指導課） 2,000千円

再生材の需要と供給のミスマッチを解消し、製造事業者等（動脈産業）と廃棄物処分業者（静脈産業）の動静脈連携を推進するため、動静脈産業の情報交換会を開催し、廃棄物処分業者が行う再資源化事業等の高度化を促進します。

**○産業廃棄物等不法投棄監視等事業（廃棄物指導課、ヤード・残土対策課）
123,480千円（R7 112,000千円）**

産業廃棄物不法投棄の早期発見・未然防止のため、県内全域を対象とした24時間365日対応の監視パトロール及び不法投棄等が行われている可能性が高い箇所への集中監視業務等を実施します。

[事業内容]

- ・不法投棄等の不適正処理等に係る監視パトロール 101,180千円
- ・産廃・残土110番に係る対応業務 1,909千円
- ・不法投棄等が行われるおそれの高い箇所におけるスポット監視業務 18,252千円
- ・災害警戒のためのスポットパトロール業務 2,139千円

**○スペースパトロール（残土・再生土対策）事業（ヤード・残土対策課）
76,500千円（R7 117,500千円）**

残土等の不適正な埋立てによる崩落事故を防止するため、衛星画像を活用して盛土等で地形の改変の疑いのある個所を抽出し、速やかな是正措置につなげます。

(2) 環境の保全と豊かな自然との共生

○外来種特別対策事業（自然保護課） 191,532千円（R7 195,090千円）

生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施します。

[主な事業]

・キョン（捕獲）	48,371千円
・アカゲザル（捕獲・調査）	71,284千円
・カミツキガメ（捕獲）	54,285千円
・アライグマ（調査・わな貸出等）	10,119千円
・ナガエツルノゲイトウ（分布調査）	7,073千円

○湖沼における外来水生植物対策事業（水質保全課） 266,306千円（R7 281,230千円）

印旛沼及び手賀沼において実施している外来水生植物の駆除について、計画的な駆除が一巡したことから、監視体制に移行するとともに、再繁茂及び漂着箇所の駆除を実施します。

また、地域住民の協力を得て、水辺環境を持続的に維持していくため、独自に駆除に取り組む市民団体に対し活動に要する経費を助成します。

[事業内容]

・手賀沼及び流域河川における再繁茂監視駆除	164,721千円
・印旛沼及び流域河川における再繁茂監視駆除	86,546千円
・市民団体における外来水生植物防除事業補助	15,039千円

○農業水路における外来水生植物特別対策事業〔再掲〕（耕地課、農地・農村振興課） 50,000千円（R7 50,000千円）

ナガエツルノゲイトウなどの外来水生植物が県内の農業水路等において生息域を拡大しており、農業への影響が懸念されることから、防除対策に取り組む市町村等や農業者等で構成される組織に対し、支援を行います。

[事業内容]

・農業水路等における外来水生植物の防除に対する支援	50,000千円
---------------------------	----------

[実施主体] ①市町村及び土地改良区

②地域の農業者等で構成される組織

[補助対象] 実施主体が保全管理する農業水路等における外来水生植物の防除に要する経費

[補助率] ①1/2以内 ※国庫補助制度を活用する場合は3/4以内（国1/2以内、県1/4以内）

②2/3以内

○県管理河川における外来水生植物特別対策事業（河川環境課）

270,000千円（R7 270,000千円）

県管理河川のうち、ナガエツルノゲイトウなどの外来水生植物の繁殖が確認されている箇所等について、繁茂拡大防止のため、引き続き駆除を実施します。

○野生鳥獣総合対策事業〔再掲〕（自然保護課）

808,779千円（R7 859,614千円）

野生鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲事業への助成を行うとともに、イノシシ及びニホンジカについては生息域拡大を防止するため、県が捕獲事業を実施するほか、捕獲の強化や担い手の確保・育成を図るため、県内外の狩猟免許取得者を対象に、千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業を実施します。

令和8年度は、生息数の増加に歯止めがかからないキョンの補助単価を5,000円から7,000円に引き上げ、捕獲を強化するとともに、生息域拡大防止を図るために設置する柵の有効性等について検証を行います。

○イノシシ等有害獣被害防止対策事業【一部新規】〔再掲〕（農地・農村振興課）

384,664千円（R7 368,635千円）

イノシシなど有害獣による農作物被害を防止するため、市町村等で構成する「対策協議会」が実施する防護柵の設置や捕獲機材の購入などについて助成します。また、地域と協働して、農作物被害を低減させるための効果的な対策手法を検証するとともに、被害対策に取り組むための体制構築を支援します。

○生活排水対策浄化槽推進事業（水質保全課）

220,000千円（R7 230,000千円）

市町村が実施する、単独処理浄化槽・くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進する事業に対し助成します。

〔補助先〕市町村

〔補助率〕

- ・個人設置型 1/3
- ・市町村設置型 4/30
- ・高度促進補助 1/2
- ・転換に係る撤去・配管費用 1/2

○環境研究センター機能強化事業（環境政策課） 68,430千円（R7 91,500千円）
（債務負担行為 272,000千円）

地球温暖化や有害物質による汚染など、環境問題に関する調査・研究を行う環境研究センターについて、老朽化対応及び機能強化のための建替えに向け、設計等を実施します。

〔令和8年度の経費内訳〕

土壌汚染調査等 68,430千円

〔債務負担行為の内訳〕

・新築設計及び残置建物の解体設計 255,000千円

・地盤調査 17,000千円

〔整備期間〕 令和7年度～令和12年度（予定）

○ A I を活用した光化学スモッグ予測事業【新規】（大気保全課） 29,854千円
（債務負担行為 11,000千円）

健康被害をもたらす光化学スモッグについて、県民への健康被害の未然防止を図るとともに、企業の生産活動への影響を回避するため、A I を活用して光化学スモッグを予測するシステムを開発します。

〔システム概要〕

- ・過去に光化学スモッグ注意報が発令された際の各種条件の機械学習により予測モデルを構築
- ・構築した予測モデルへ気象予測データを入力することで、注意報発令の可能性を予測

○ P F O S 及び P F O A に係る地下水汚染防止対策事業（水質保全課） 24,000千円
（R7 29,200千円）

P F O S 等による地下水汚染の拡大を防止するため、汚染源等を解明する目的で市町村が実施する調査等に対し、支援を行います。

〔補助対象〕 市町村

〔補助率〕 1/2以内

〔対象経費〕 ・汚染機構解明調査（諸元調査、地質ボーリング調査 等）

・汚染除去対策（活性炭処理施設の設置、除去対策効果の確認調査 等）

(3) 千葉の魅力の向上と活用

○発酵を活用した千葉の魅力発信事業【一部新規】〔一部再掲〕

83,510千円 (R7 136,103千円)

房総半島の豊かな自然環境や、利根川・江戸川の水運の歴史などを背景として、今なお発展を続けている千葉県の多様な発酵文化・産業を活かし、本県の魅力を県内外に広く発信します。

令和8年度は、大阪・関西万博への出展による成果を県産品の販路拡大や県内誘客の促進に繋げられるよう、「発酵県ちば」の取組を進めます。

[事業内容]

1 発酵県ちばプロモーション事業【新規】（政策企画課） 30,000千円

本県の発酵グルメをPRするため、県内の飲食店等と連携してグルメフェスイベントを開催するとともに、県内外イベントへのブース出展を通じて「発酵県ちば」の魅力を広く発信するほか、発酵に関連する観光コンテンツの把握や掘り起こしなど、さらなる誘客促進に向けた調査を実施します。

2 料理を通じた県産農林水産物の魅力発信事業【一部新規】〔再掲〕（販売輸出戦略課）

20,000千円

本県の発酵食品を代表する「醤油」と県産農林水産物を使った料理を通じて千葉県の食材のおいしさを広く発信するため、「ちばの醤油グルメフェア」等でのPRを行います。

3 期間限定アンテナショップにおける発酵食品のPR〔再掲〕（観光政策課） 33,510千円

期間限定のアンテナショップを出店し、醤油、酒、チーズなどの発酵食品を含め、千葉県ならではの県産品の魅力を積極的に発信します。

○地域づくり推進事業〔再掲〕（地域づくり課）

30,000千円 (R7 30,000千円)

県内各地域において、それぞれの地域が持つ特性や強みを活かし、地域の活性化に向けた取組を推進するため、県、市町村、地元関係者等が連携して地域づくりに取り組みます。

○移住・定住促進事業（地域づくり課、観光政策課、雇用労働課）

39,571千円（R7 44,377千円）

（債務負担行為 29,000千円）

二地域居住を含めた移住・定住の促進に向け、移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトの運営や本県専任の移住相談員の配置など、情報発信及び相談体制の充実を図ります。

〔主な事業〕

1 情報発信の強化

- ・移住に係るポータルサイトの運営 14,259千円
- ・移住に関する相談会やイベント等の開催 8,949千円

2 相談・受付体制の確保

- ・ちば移住支援センターの運営 13,912千円

○副業人材マッチング支援事業（地域づくり課）

16,400千円（R7 22,000千円）

少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業と豊富な知識・経験等を有する副業人材をマッチングし、地域の課題解決に資する企業の取組を支援します。

〔対象地域〕

県内7地域（香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津）

〔本事業の対象となる地域企業の取組〕

- ・関係人口、二地域居住、移住・定住の増加に資する取組
- ・地域を代表する物産の開発・生産など、地域のブランド形成に資する取組 等

○ちばの「海と夕陽」を活用した観光プロモーション事業【新規】〔再掲〕（観光政策課）

25,000千円

千葉ならではの「海と夕陽」の魅力を広く発信し、認知度向上を図るため、令和7年度に実施したフォトコンテストの入賞作品等を活用し、市町村・観光協会や観光事業者等と連携したプロモーションを実施します。

〔主な事業〕

- ・ポスター・プロモーション動画の作成
- ・観光パンフレット・ホームページ・SNS等でのPR
- ・メディアやインフルエンサーによる情報発信

○ちばワーケーション受入促進事業〔再掲〕（観光政策課） 27,000千円（R7 101,200千円）

ワーケーションの受入促進を図るため、ホームページやワークショップ等により県の魅力を発信するとともに、県内でワーケーションを行う企業等に対して実施経費の一部を助成します。

〔事業内容〕

- | | |
|---------------------|----------|
| 1 ちばワーケーション受入促進事業 | 9,000千円 |
| 2 ちばワーケーション実施企業助成事業 | 18,000千円 |

○千葉のブランド形成推進事業【一部新規】〔再掲〕

（地域づくり課、報道広報課、観光政策課） 236,200千円（R7 232,900千円）

千葉県内各地域の認知度を高め、ブランディングを図るため、テレビ、ラジオ、誌面広告による広報のほか、令和9年1月11日に誕生20周年を迎えるチーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

〔主な事業〕

- | | |
|----------------------|----------|
| ・テレビ（在京キー局）による映像情報発信 | 88,418千円 |
| ・ラジオを活用した情報発信 | 24,684千円 |
| ・誌面広告を活用した情報発信 | 26,200千円 |
| ・チーバくん誕生20周年記念事業【新規】 | 10,000千円 |
| ・チーバくんによる情報発信 | 44,300千円 |
| ・観光物産情報ラジオ番組 | 6,000千円 |
| ・メディアアリレーション事業 | 30,000千円 |

○世界に向けた千葉のブランド形成推進事業〔再掲〕（地域づくり課）

18,800千円（R7 18,300千円）

県内各地域の認知拡大と地域ブランディングの推進を図るため、在京外国人向けフリーマガジンによる広報のほか、成田空港で本県の観光地や食、文化を紹介するPR動画を掲出します。

〔事業内容〕

- ・在京外国人向け誌面広告を活用した情報発信 14,840千円
- ・成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出 3,960千円

○千葉県落花生導入150周年事業〔再掲〕（生産振興課、販売輸出戦略課） 20,000千円

令和8年は落花生が千葉県に導入されてから150年目に当たることから、長い間親しまれてきた落花生の歴史を振り返り今後の発展につなげる記念イベントを開催するとともに、150周年を契機とした魅力発信や消費拡大につなげるためのプロモーション等を実施します。

〔事業内容〕

- ・記念イベントや栽培体験等の実施 2,100千円
- ・SNS等を活用した落花生の魅力発信 7,900千円
- ・落花生等の消費拡大に向けたプロモーション等の実施 10,000千円

（４）千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

＜文化芸術の振興＞

○芸術祭開催事業（文化振興課）88,000千円（R7 103,000千円）
（債務負担行為 5,000千円）

千葉県誕生150周年記念事業で生まれた多様な主体や市町村の広域連携による取組を財産として引き継ぎ、本県ならではの文化芸術として発展させていくため、県と複数の市町村が広域で連携した芸術祭を県内2地域で開催します。

〔開催概要〕

開催時期：令和9年3月から5月

会場：市原市、木更津市及び大多喜町（房総国際芸術祭 アート×ミックス2027）
成田市、印西市及び栄町（名称は令和8年2月頃に決定）

内容：土地が持つ特色を生かしたアート作品の制作・展示等

○「県民の日」事業（文化振興課）49,000千円（R7 49,000千円）
（債務負担行為 49,000千円）

幅広い世代の県民が、「県民の日」を通してふるさと千葉の魅力を再発見できるよう、令和8年度は、ちばアクアラインマラソンや房総国際芸術祭 アート×ミックス2027が開催される木更津市で中央行事を実施するとともに、県内各地で地域行事を開催します。

〔事業内容〕

- ・中央行事の開催 35,000千円
- ・地域行事の開催 11,000千円
- ・「県民の日」の広報 3,000千円

○「ちば文化」創造・継承事業（文化振興課） 20,000千円（R7 20,000千円）

本県の文化の向上と地域の魅力発信、地域活性化を図るため、本県ならではの多様で豊かな自然環境などを取り入れた「ちば文化」を活用した事業の開催にかかる経費の一部について助成します。

〔補助対象〕 市町村・民間事業者

〔補助率等〕 事業費の2分の1（上限100万円）

〔補助要件〕

- ・千葉ならではの豊かな自然環境などを取り入れた芸術祭等の新たな文化活動（市町村事業）
- ・ちば文化資産を活用したお祭りや伝統芸能等（民間事業）
- ・SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの（市町村事業・民間事業）

○千葉交響楽団関連事業（文化振興課） 105,516千円（R7 100,577千円）

千葉交響楽団の運営に対し助成するとともに、児童・生徒や県民を対象にした公演等を支援します。

県内唯一のプロオーケストラとして、演奏活動等を通じて本県文化の発展に貢献できるよう、運営体制を強化します。

〔事業内容〕

1 運営費補助	38,831千円
2 自主演奏会支援補助	15,000千円
3 学校における芸術鑑賞事業	30,461千円
4 県民芸術劇場公演事業	20,148千円
5 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業	1,076千円

○千葉県少年少女オーケストラ育成事業（文化振興課） 50,149千円（R7 49,073千円）

千葉県少年少女オーケストラの育成のための経費を助成します。

〔事業内容〕

- ・少年少女オーケストラ助成事業 15,620千円
- ・運営費補助 34,529千円

○障害者芸術文化活動支援事業（文化振興課） 13,500千円（R7 13,500千円）

障害者芸術文化活動支援センターにおいて、相談支援、人材育成、ネットワークづくり等を行い、障害のある方の芸術文化活動を支援します。

〔事業内容〕

- | | |
|---------------|---------|
| ・事業所等からの相談支援 | 1,850千円 |
| ・人材育成、情報収集・発信 | 4,050千円 |
| ・発表の機会の創出等 | 7,600千円 |

○軽音ちば事業（文化振興課） 5,709千円（R7 5,415千円）

若者を中心に人気のある軽音楽について、近年、様々な音楽イベントが県内で開催されるようになり、県民が親しむ機会が身近になってきたことを踏まえ、こうした機会を活用し、本県の文化の一つとして振興を図ります。

〔事業内容〕

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ・「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業 | 4,709千円 |
| ・高等学校軽音楽コンテスト | 1,000千円 |

○アーティスト・フォローアップ事業（文化振興課） 27,000千円（R7 28,000千円）
（債務負担行為 17,000千円）

新たな分野で本県の将来の芸術文化の担い手を育成するため、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな若手アーティストのキャリア形成を支援します。

〔支援対象〕 39歳以下（令和9年3月末時点）で、県内に在住・在学・在勤、本県出身又は本県に活動拠点を有する方

〔対象分野〕 美術、デザイン、音楽、ダンス

〔事業内容〕 アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援

〔選考人数〕 各分野2名ずつ 計8名

〔支援内容〕 資金支援に加えて人的支援（専門家によるサポート等）を実施

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）
- ・作品制作及びキャリア形成に関する助言 等

○中央博物館特別展の開催（文化振興課）

27,078千円（R7 22,000千円）

（債務負担行為 24,000千円）

本県ならではの海の魅力に親しむことができる特別展を開催します。

[事業内容]

- ・令和8年度特別展「ちば恐竜博～驚異の捕食者たち～（仮称）」の開催 25,000千円

〔開催時期〕 令和8年7月11日～令和8年9月27日の69日間（予定）

〔展示構成〕 モササウルス、ゴルゴサウルス、ケラトサウルスの全身復元骨格 等

- ・令和9年度特別展「驚異の深海生物3（仮称）」の開催準備 2,078千円

〔開催時期〕 令和9年7月中旬～令和9年9月下旬の58日間（予定）

〔展示構成〕 深海の環境、房総半島周辺海域で見つかった深海生物、世界の深海生物 等

○国立歴史民俗博物館との連携事業（文化振興課）

5,500千円（R7 2,295千円）

国立歴史民俗博物館と相互に連携し地域の活性化等を図るため、共同研究等を行うとともに、共通のパンフレット発行などの広報活動を実施します。

○中央博物館大多喜城分館耐震改修等整備事業（文化振興課）

（債務負担行為 1,710,000千円）

（R7 45,000千円）

耐震やバリアフリー化の改修工事などを行い大多喜町へ移譲する予定の大多喜城分館について、耐震改修工事等に着手します。

[主な内容]

- ・耐震壁の設置
- ・バリアフリー化
- ・老朽化した設備の改修
- ・トイレの改修

○文化財保存整備助成事業（文化財課）

79,000千円（R7 92,000千円）

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成します。

〔補助対象〕 国指定文化財13件、県指定文化財11件 計24件

〔補助率〕 国指定文化財 国庫補助額を控除した額の1/2以内

県指定文化財 1/2以内

○縄文貝塚発信プロジェクト事業【新規】（文化財課）

3,500千円

本県の縄文貝塚が持つ文化的価値を広く認識してもらうため、国指定史跡の縄文貝塚を有する各市等との実行委員会を設置し、縄文貝塚に関する情報交換や共同研究等を実施するほか、縄文貝塚の価値や魅力を効果的に情報発信するためのイベントを実施します。

＜スポーツの振興＞

○ちばアクアラインマラソン開催事業（生涯スポーツ振興課）

127,500千円（R7 57,500千円）

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、7回目の大会となる「ちばアクアラインマラソン2026」を開催します。

〔開催日程〕 令和8年11月8日（日）

〔種目等〕 フルマラソン 12,000人（参加料 16,500円）

ハーフマラソン・車いすハーフマラソン 5,000人（参加料 13,500円）

○外房サーフィン振興事業（生涯スポーツ振興課）

10,520千円（R7 10,520千円）

東京2020大会のレガシーとして、本県でサーフィンを楽しむ人を増やすとともに、参加者と地域の交流やスポーツを核とした地域の活性化を促進するため、関係団体等と連携して、サーフィン体験会やサーフ文化の発信イベントを開催します。

〔主な事業〕

- | | |
|---------------------|---------|
| ・サーフィン体験会 | 1,747千円 |
| ・体験会に併せたサーフ文化発信イベント | 7,726千円 |
| ・海の文化イベント等へのブース出展 | 1,000千円 |

○ゴルフを活用したスポーツ振興事業【新規】（生涯スポーツ振興課）

9,500千円

全国で最も多くのゴルフ場を有する本県の特性を活用し、子どものうちから生涯スポーツであるゴルフに親しみ、気軽に楽しめる環境づくりを進めるため、県内各地のゴルフ場において大人から子どもまで幅広い世代が参加するファミリー向けゴルフ体験会を開催するとともに、県内競技団体と連携し、小学校で「スナッグゴルフ」体験会を実施します。

〔事業内容〕

- | | |
|--------------------|---------|
| ・ファミリー向けゴルフ体験会 | 6,350千円 |
| ・小学校での「スナッグゴルフ」体験会 | 3,150千円 |

○千葉県競技力向上推進本部事業（競技スポーツ振興課）

260,000千円（R7 260,000千円）

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

〔主な事業〕

- ・国スポ選手強化・サポート事業
- ・オリンピックアスリート強化支援事業
- ・ちばジュニア強化事業
- ・パラアスリート強化・支援

○ちばジュニアアカデミー発掘・育成事業【新規】（競技スポーツ振興課） 10,000千円

競技人口の少ないスポーツにおいても競技力の向上を図るため、小学生を対象とした運動能力の測定会により、自分の強みを活かせる競技人口の少ないスポーツがあることを知ってもらうとともに、運動能力の優れた児童に対しては、座学やスポーツ体験のプログラムなどの支援を実施することにより、千葉県から国内外で活躍する選手の輩出を目指します。

〔対象競技〕

ハンドボール、スポーツクライミングなど12競技

〔事業内容〕

- ・運動能力測定会（対象：小学4年生）の実施
- ・能力開発プログラムの実施
- ・競技用具の整備

○パラスポーツ振興事業【一部新規】〔再掲〕（生涯スポーツ振興課）

78,680千円（R7 87,030千円）

パラスポーツの普及を図るとともに、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。令和8年度は、新たに千葉県パラスポーツ情報センター（仮称）を設置し、パラスポーツに関する情報発信や相談対応を行います。

〔主な事業〕

- | | | |
|---|----------------------------|----------|
| 1 | パラスポーツフェスタ開催事業 | 6,631千円 |
| 2 | 千葉県パラスポーツ情報センター（仮称）の設置【新規】 | 31,500千円 |
| 3 | 特別支援学校を活用したパラスポーツ普及促進事業 | 5,002千円 |
| 4 | パラスポーツ競技団体支援事業 | 5,850千円 |

○総合スポーツセンター体育館整備事業（競技スポーツ振興課）

527,177千円（R7 469,062千円）

総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地での建替えを行います。

〔事業内容〕 解体工事、新築工事

〔供用開始〕 令和11年度中（予定）

〔事業費〕 (千円)

年度	解体工事費	新築工事（継続費）	合計
令和7年度	469,062		469,062
令和8年度	97,438	429,739	527,177
令和9年度		2,386,606	2,386,606
令和10年度		10,664,893	10,664,893
令和11年度		2,478,762	2,478,762
合計	566,500	15,960,000	16,526,500

○総合スポーツセンター陸上競技場大型映像装置設置事業（競技スポーツ振興課）

950,000千円

総合スポーツセンター陸上競技場について、施設機能の充実を図るため、大型映像装置の設置を行います。

〔事業内容〕 大型映像装置の設置等

〔供用開始〕 令和9年度（予定）